

令和7年度 学校評価表

学校番号	18	学校名	長野工業高等学校
------	----	-----	----------

学校教育目標		自らの人生と新たな社会の創造に誠実に努力する人を育てる。		
学校重点目標		<p>【高校生の人格を磨き、可能性を最大限伸張させるために、次の目標を推進する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○普通科目と専門科目ともに学力、技術力をのばす。 ○5S（整理・整頓・清潔・清掃・躰）を徹底し、基本的生活習慣を養う。 ○一人ひとりを大切に、いじめ、体罰を許さない安全安心な学校づくりを推進する。 ○探究活動や進路指導を通じて生徒の自己実現をサポートする。 		
		評価基準：A 十分満足している B 満足している C 不満足である		
評価対象	評価項目	評価の観点	評価	成果や次年度への課題（概要）
学習指導	教育課程	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程が生徒の学力の伸長へと繋がるよう、各科でシラバスの充実改善を図る。 ・生徒の可能性を広げるために、選択科目の精選を図る。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度の新2年・新3年の科目選択については、生徒の進路に合わせた選択の指導を、各教科・学年会と協力し行うことができた。 ・令和8年度のシラバスについては、今年度の内容を精査し、現在作成中である。
	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着と向上のため、年2回の基礎力診断テストを実施し、結果を分析・共有する。これにより学力状況を正確に把握し、個別に応じた学習支援を行う。 ・年2回の授業評価アンケートを実施し、生徒が主体的・対話的に学べる授業を推進する。アンケート結果は指導方法の改善に利用する。 ・「総合的な探究の時間」を通じて、生徒の自己理解と社会理解を深め、主体的に学ぶ力を育成する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力診断テストについては、ベネッセ担当者による分析会を実施し、その結果を活用して保護者懇談会等で効果的な学習指導の提案を行うことができた。 ・令和8年度のシラバスについては、現在作成中である。 ・授業評価アンケートを8月と12月の2回実施し、生徒の実態を踏まえた授業改善に取り組むことができた。 ・2学年の「総合的な探究の時間」では、外部講師による講義や地域企業の講演を実施し、3年次の進路決定に向けて、生徒が社会で働く自分をより具体的にイメージし、主体的に考える力を養う機会を提供できた。
	キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育を「人間力」の育成ととらえ、教育活動全体を通して推進する。 ・教育活動のあらゆる場面で対話を重視することを共通目標として定め、これを推進する。 ・産業フェア、ビジネスフェア、就業体験等を通して、学校生活と社会生活や職業生活を結び付け、生徒の学習意欲を喚起する。 ・高大連携や課題研究を通して、論理的思考力や専門的な知識・技能を、さらには発表会等により人間関係形成力を高める。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度、キャリア教育の視点を「人間力」の育成ととらえることとした。「人間力」の育成は本校が注力しているところでもあり、キャリア教育をより具体としてとらえるうえで意味があったと考えている。 ・産業フェア、ビジネスフェア、就業体験等を計画通りに実施できた。社会を知り、自己のあり方を考えるうえで意味のある活動となった。 ・高大連携や課題研究発表会等も計画通り実施できた。論理的思考力や専門的な知識・技能を高めるうえで有効な機会となった。
	資格検定等	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアマイスター顕彰の取得や各種コンテスト上位入賞など生徒各々が掲げる目標が達成できるように、資格取得やコンテストなどの案内を充実させ指導助言を図る 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性を生かした資格取得や技能検定認定などの生徒の取り組みを進めた。また、多くの生徒が全国工業高等学校長協会からジュニアマイスターを授与された。来年度も生徒が意欲的に資格取得に取り組めるようにしたい。
進路指導	進路実現	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒や保護者の要望にそった進路情報の提供と、生徒自身の目標・能力・適性に合った進路が実現できるよう、企業・上級学校の現状を踏まえた適切な指導・助言を行う。 ・オープンキャンパス、インターンシップ等の校内では得られない体験を通じて、職業観の醸成や将来の生き方を考えさせる。そのためには、企業説明会・学校説明会等を積極的に活用する。 ・生徒の進路実現のために学年進行に沿った系統的な指導を充実させるとともに、就職先・進学先の情報収集や研究、開拓等を行う。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の進路実現のために、生徒個人への指導はもちろんのこと、保護者への個別指導も展開した。それぞれの家庭事情もあるため、個別指導充実の必要性を再認識した。 ・生徒個別に参加するオープンキャンパスには、配布物、展示等で情報提供をすることができた。また、市内で開催される各種進路相談会等への参加を呼びかけ、学年単位や参加希望の生徒が参加できた。 ・今年度は、7月と12月の保護者懇談会中に進学希望の2年生、25名を対象にして進学担当面談を実施した。志望校の決定と学習目標の具体化に対して、有効な指導ができた。 ・国公立大学合格者を増加することができたため、4年制大学の出願指導方法を学校全体で共有し、継続していくことに努めたい。
生徒会	班・同好会活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学業と班同好会活動は教育活動において両輪であるという考えに基づき、生徒達の可能性や能力を最大限に伸ばせるよう支援する。また、各班・同好会の活動状況や活躍の様子を、学校内外に広く情報発信していく。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・運動班、文化班、専門科班など自主的で積極的な活動が見られ、大会等でも優れた成績を残すことができています。また、新たな同好会を作ろうと意欲的に活動をする生徒もおり、充実した高校生活を送っている生徒が増えた。
	自主活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携を生徒会活動の重要な柱と考え、生徒が企画・運営に積極的にかかわる中で、自主性を育めるようサポートする。また、生徒会の諸行事を通して、執行部を中心に全校生徒が創造性を発揮し、思い出深い高校生活を送れるように支援する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・長野車いすマラソンのボランティアを中心に、地域の夏祭りへの協力など執行部を中心に積極的な活動が見られた。また、100回目となる長工祭では、様々な試みに積極的にチャレンジし、全校生徒が一丸となる中で、生徒一人ひとりの創造力を養うことができた。
清美	清掃美化活動	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の清掃活動により校内の美化に努めるとともに、分別によるゴミの減量化と資源化に取り組む。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・清美委員会の継続的な取組により、清掃時のごみ収集は円滑に行われ、校内美化に一定の成果が見られた。一方で、分別の徹底には課題が残り、今後の全校的な意識向上が求められる。
生徒指導	安全安心な学校	<ul style="list-style-type: none"> ・校内情報の共有化により、職員一致による協力体制を図り、暴力やいじめ等の無い、安全・安心な学校づくりを行う。 ・交通ルールの遵守を呼びかけ、登下校中の交通事故防止に努める。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・事案の内容について係と学年会を中心に情報共有に努め、生徒指導を進めることができた。その際に各専門科及び教科担当より助言や意見をいただき、職員会においても情報共有を図った。 ・また教科担当が感じた生徒のちょっとした変化や違和感から担任への相談へとつながり、大きなトラブルとなる前に対応できた事案があった。日頃から生徒をよく観察しておく必要性を感じる出来事であった。 ・自転車事故が例年よりも目立ち、道路交通法改正に合わせ自転車の乗り方について周知徹底を図りたい。
	基本的生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> ・頭髪等の身だしなみをはじめ、5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)を励行する。礼節を重んじ、時間を守ること等の指導を通して、常識ある行動ならびに社会で通用する基本的生活習慣とマナーの確立を図る。 ・地域に信頼され、評価される長工生を目指す。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・頭髪等の身だしなみは全体として落ち着いており、一部生徒の改善に苦慮する場面もあったが最終的には指導に乗ってくる姿があった。 ・朝の立ち番では、生徒会の生徒及び一般生徒も挨拶に加わってくれる場面もあり、時間を守ることや挨拶をかわすことにおいて前進した感がある。
	教育支援	<ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な生徒情報を随時更新し、アセス(学校環境適応感尺度)を全生徒に実施することで生徒理解に努める。SOSの出し方教育を実施し、相談窓口を常時掲示することで、生徒がSOSを出しやすい環境をつくる。必要に応じてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、長野県教育相談窓口等との連携を行い、適切な支援を行う。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・アセス(学校環境適応感尺度)を全クラスで実施し、生徒理解に役立てることができた。SOSの出し方教育は各学年でそれぞれ昨年度とは違った内容で実施することができた。相談窓口の周知もオクレンジャー等を活用し定期的に行った。個々の生徒や保護者の必要に応じたスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、稲荷山養護学校の高校巡回相談等と連携し、支援の充実を図ることができた。来年度も担任との連絡を密にし、ひとりひとりが安心して学校生活を送れるようきめ細かい支援を継続したい。
開かれた学校づくり	授業公開等	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に授業参観を促し、学校の様子を実際に見てもらうことで学校への関心を高めてもらい、学校と家庭との連携を強化する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・授業公開を5月と9月に行った。5月の授業公開は保護者だけでなく、来春受験の中学3年生も本校の様子を見に来ており盛況であった。 ・9月の授業公開は、中学生に的を絞って日程を設定したが、思ったほどの来校者ではなかった。来年度の日程に検討の余地がある
	広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・HPをリニューアルするとともに、学校HPと生徒会や班活などの団体のインスタグラムをリンクさせるなどして、学校からの情報発信を拡大させる。 ・専門科の特色ある取り組みを積極的に発信する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいHPにするために、現在も内容の検討をすすめている。長工の専門科の特徴や学校生活の様子を発信できるよう新しいHPの構成を検討している。
	P T A活動	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育における課題を保護者・職員で共有して、生徒の学校生活が有意義になるよう連絡を密にする。 ・家庭との連絡を密にするためには、オクレンジャーの登録者数を増やすことで実効性を高める。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・オクレンジャーの登録率が97.5%に達している。連絡メールの活用により学校・保護者間の迅速な連絡体制がとれている。登録率のより一層の増を図りたい。 ・学校開放(長工祭)PTA企画「地震被災者支援のためのPTA活動」として被災地の物品販売を行い、多くの人たちの協力を得るなかで完売することができた。
	生徒募集	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業学年や進路係と連携して卒業生の声を集め、それを中学校訪問やHPを通じて中学生に紹介、就職も進学も強い長工をアピールする。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・入試制度の変更によって時間を割かれ、卒業生の声を集めるまで手が回らなかった。 ・中学校訪問時に長工の特徴である就職にも進学にも強い学校をアピールすることはできた。